

改革手法(スキル)要点

モノづくり力復活の「改革手法(スキル)」と「すっぽん改革道」副読本

2009/4/18

長町和夫

(日立製作所～日立ディスプレイズのOB)

－目次－

◆改革手法(スキル)

- 1 手法(スキル)を使う際の心得
 - トリレンマ、演繹法と帰納法、
 - 目的と手段の違い、PDCA、
 - マネジメント思想の発展系譜(経営テーマ変遷)、
- 2 改革手法(スキル)の実例
 - 必須スキル
 - IE7つ道具、QC7つ道具、新QC7つ道具、発想法
 - 参考スキル
 - 分析と解決(数学、統計学応用)、論理シナリオ構築

－目次－

◆改革手法(スキル)

→ – 1 手法(スキル)を使う際の心得

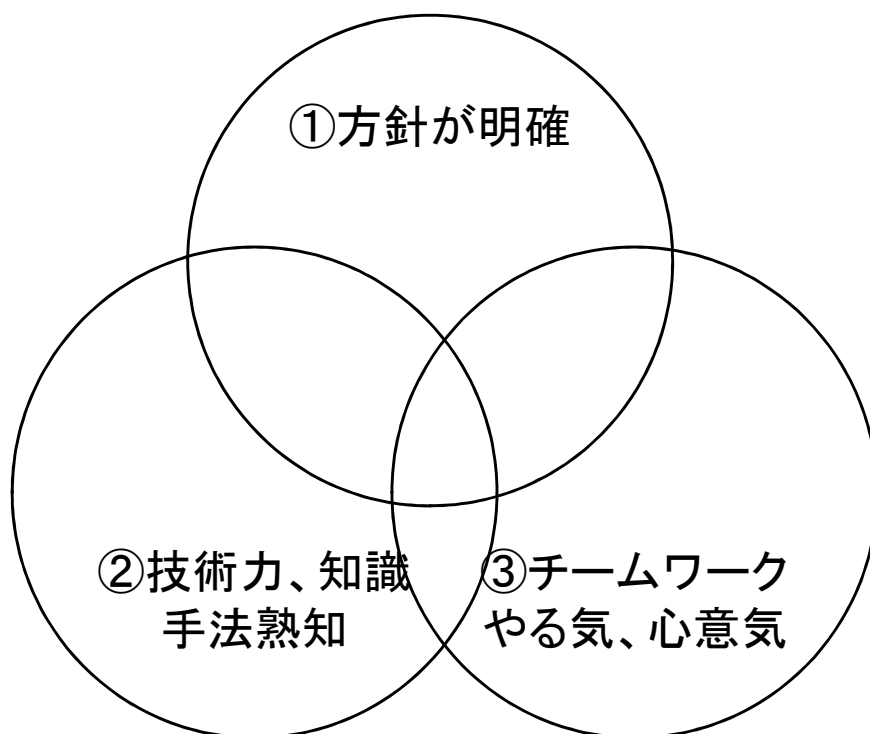
- トリレンマ、演繹法と帰納法、
- 目的と手段の違い、PDCA、
- マネジメント思想の発展系譜(経営テーマ変遷)、

– 2 改革手法(スキル)の実例

- 必須スキル
 - IE7つ道具、QC7つ道具、新QC7つ道具、発想法
- 参考スキル
 - 分析と解決(数学、統計学応用)、論理シナリオ構築

改革手法(スキル)	
区分	手法を使う際の心得
名称	トリレンマ(3つのジレンマ)

- ・①②③のどの要素が劣っていても駄目
- ・この3つがバランスよく揃っていないと、前進・向上は覚束ない



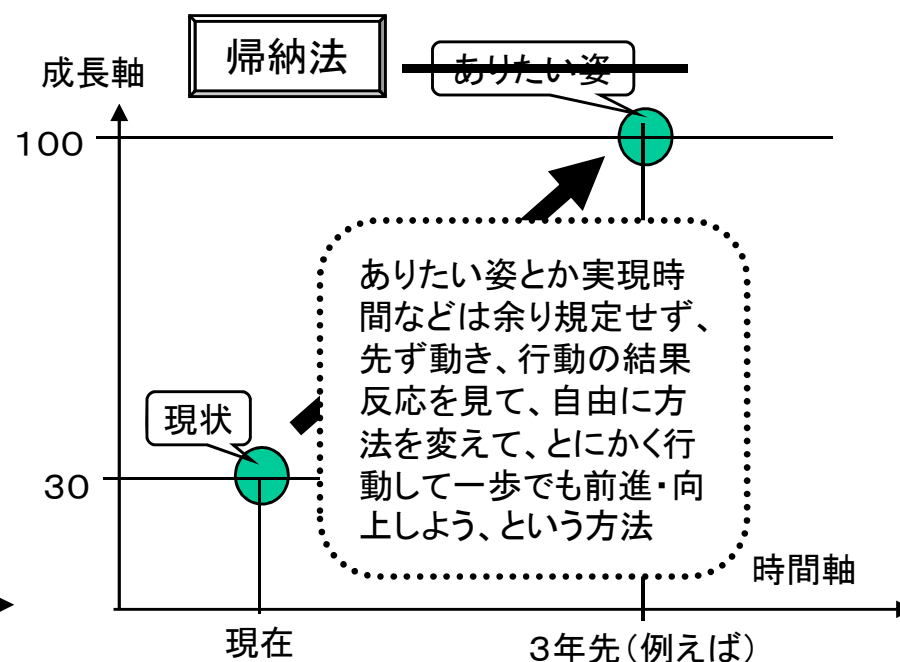
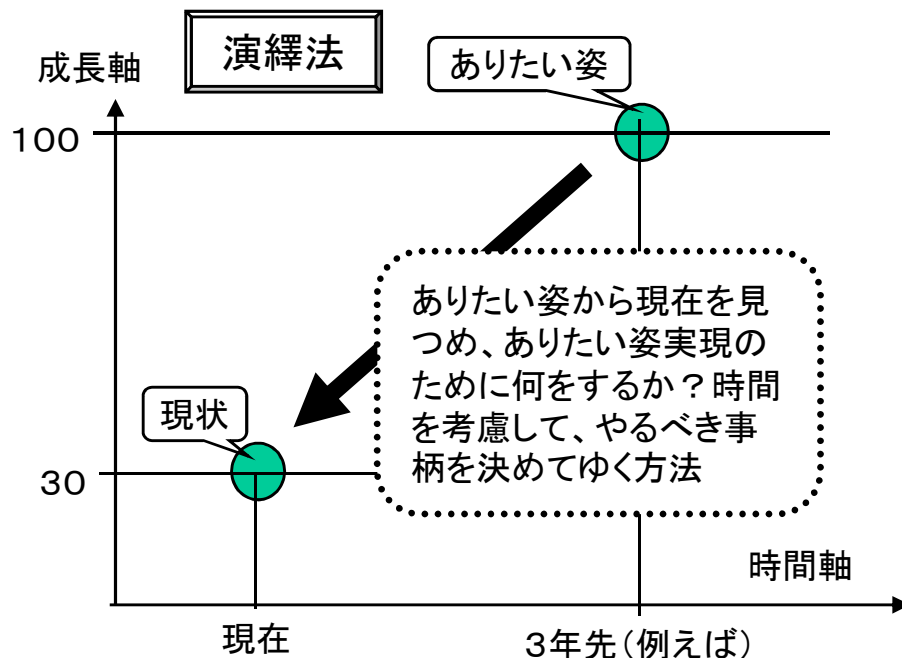
エースだけ4番だけでは
試合にや勝てない

これはチーム行動で成功を収める為の鉄則
企業での部課組織、
学校での運動部、
団体でのサークル、等など
凡そ複数の人間が集まって行動する場合、
必ずこの鉄則に従って行動している
分り易い例が、
スポコンモノ(スポーツ根性モノ)
歴史では、甲子園を目指す高校野球
今なら、ロボコン競技

改革手法(スキル)

手法を使う際の心得

演繹法と帰納法



区分	演繹法（ワークデザイン法とも言う）	帰納法（分析積上げ法とも言う）
長所	1. 行動の前にじっくり検討するので失敗が少ない 2. 目標が明確～目標実現手段を考え易い 3. 実現手段でPDCAを回し易い	1. 左右どちらを取るか悩む時、とにかく動く事が出来る * 良いと思ったら直ぐ動き回れ、動き回って結果が悪かったら直せば良い、試行錯誤で道を見出せば良い、の考え方
短所	1. 時間がかかるため、急ぎの用には役に立たない 2. 目標設定が難しく、目標確定までに時間がかかる 3. 「目標設定→行動開始」の為、行動までに時間が掛かる	1. 厳密な目標設定をしない為、目標未完に終り易い 2. 回り道をして、結局、目標値に辿り着く事が出来ない事が発生する 3. 短慮悔やむことが多い

改革手法(スキル)	
区分	手法を使う際の心得
名称	目的と手段を取り違えるな！

成長軸

手法追求は面白い！
 ついつい手法精緻化が目的になり易い。
 これは、断じて、やってはならない。
 手法は、あくまでも手段と割り切る事。

改善された状態

- ・最大問題解決で一段階上昇
- ・改善・改革繰り返して更に良くなる

問題解決フェーズ

問題解決手法

すっきり状態

- ・問題が無くなった訳ではなく残ってはいるのだが整理されている
- ・整理されているから手の打ちようがある
- ・改善・改革すれば確実に良くなる

モヤモヤ状態(混沌とした状態)

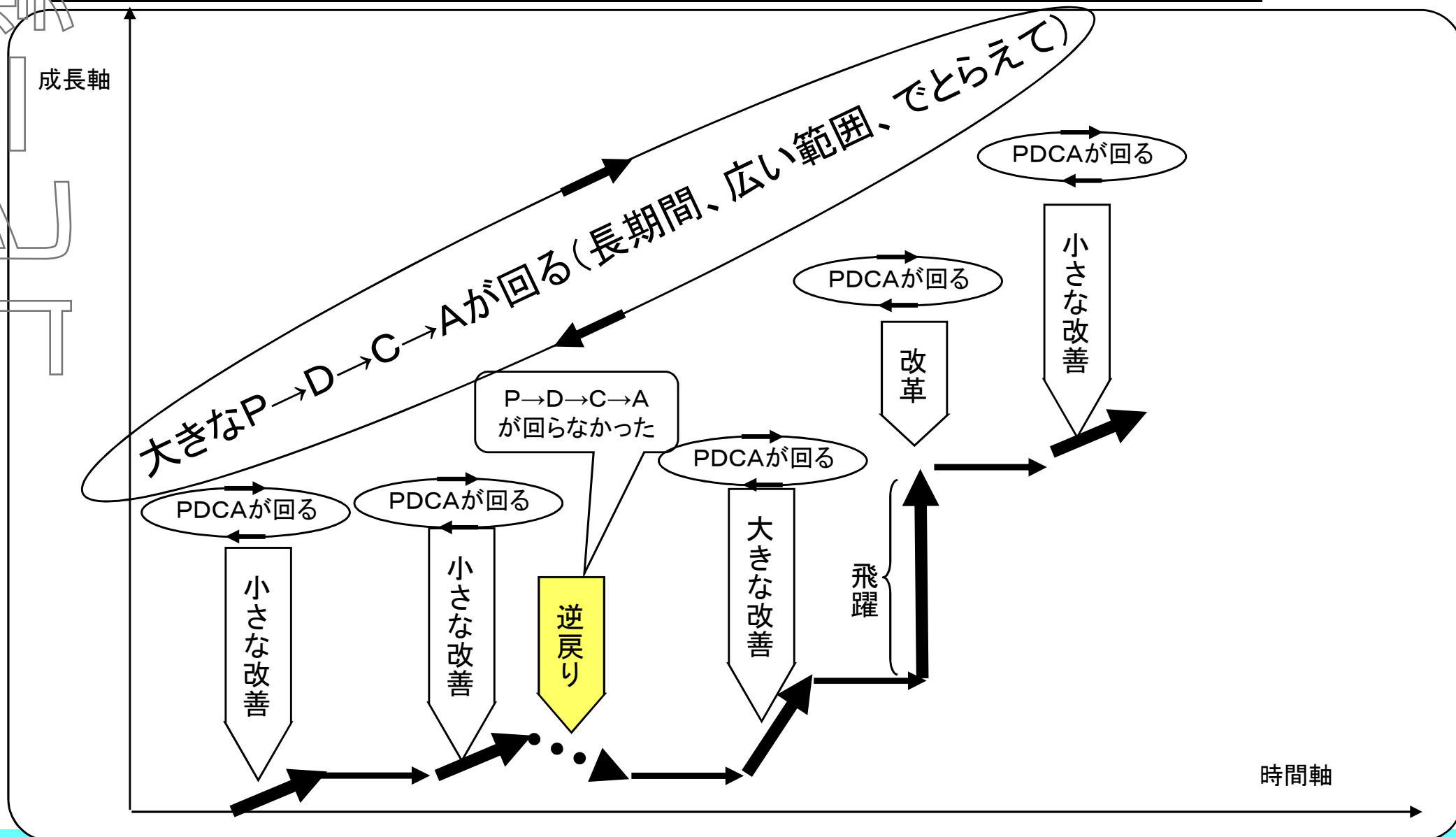
- ・全体として上手くゆかない
- ・どうすれば上手く行くのか分らない
 - ・どこをどう直せばいいのか？
 - ・何が問題なのか？
 - ・本当に問題なのか？

問題把握フェーズ

問題把握手法

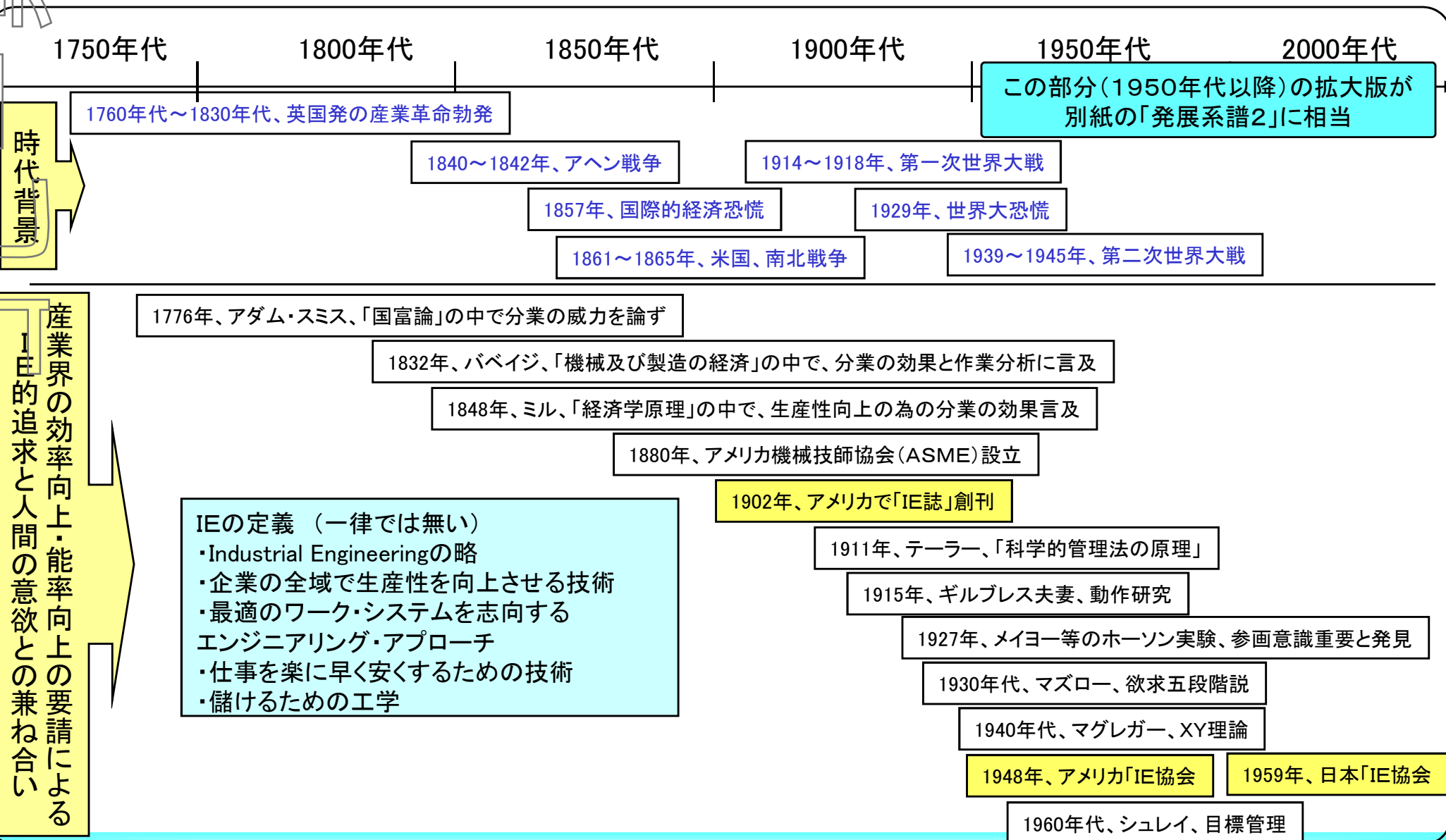
時間軸

改革手法(スキル)	
区分	手法を使う際の心得
名称	PDCAサイクルを回す



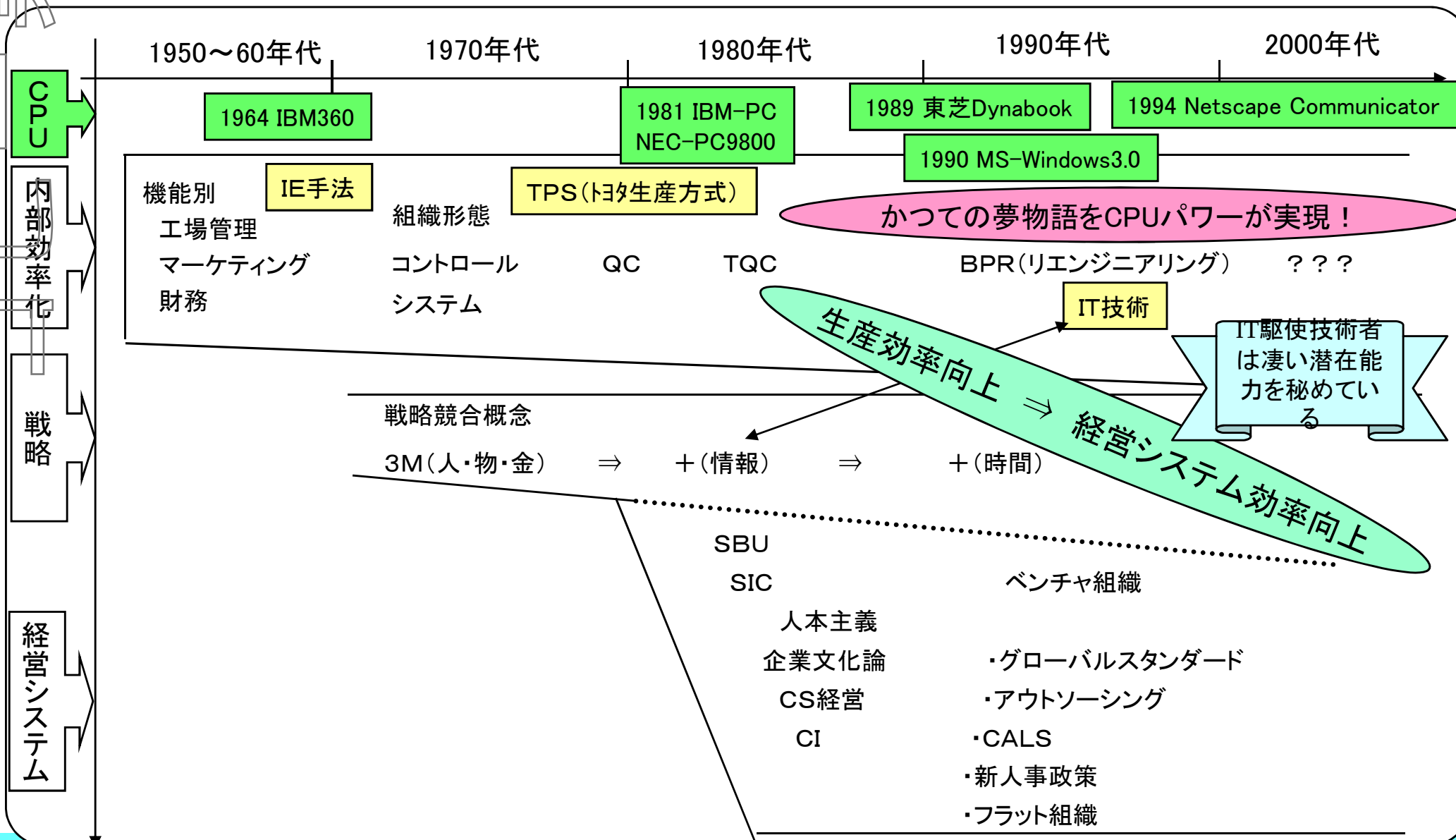
改革手法(スキル)

区分	手法を使う際の心得
名称	マネジメント思想の発展系譜1 出所: マネジメント思想の発展系譜、上野一郎、日本能率協会、1976/2



改革手法(スキル)

区分	手法を使う際の心得
名称	マネジメント思想の発展系譜2(経営テーマ変遷) 出所: 戦略の本質、和田勲夫、ダイヤモンド社、1998/7



目次

◆改革手法(スキル)

– 1 手法(スキル)を使う際の心得

- トリレンマ、演繹法と帰納法、
- 目的と手段の違い、PDCA、
- マネジメント思想の発展系譜(経営テーマ変遷)、

➡ 2 改革手法(スキル)の実例

• 必須スキル

- IE7つ道具、QC7つ道具、新QC7つ道具、発想法

• 参考スキル

- 分析と解決(数学、統計学応用)、論理シナリオ構築